

## NTT観察会&樹木マップづくり

入間・樹林の会

去る4月29日、入間・樹林の会で管理作業を行っているすぐ隣のNTT構内で植物観察を行いました。

メンバーの横山さんが、ご自身編纂の「調布の野の花100春編」を使用し説明役。オニノゲシ、タチイヌノフグリ、アミガサタケなどたくさんの植物に会えました。敷地の外まわりも歩き、野川近くの雑木林を抜け、広場に出て、一周して帰ってきました。

5月18日は定例の活動日。白い花を咲かせたガマズミが私達を迎えてくれました。講師の根本先生指導のもと、樹林マップづくりが始まりました。扇型地形の南西の地点を原点とし、道路側の境界線を確認しAからHの地点を定めました。次に、樹木番号付け、位置の測定、種類と幹の太さを測定する3つのグループに分かれ、午後3時過ぎまで作業を行いました。番号を付けた樹木は合計232本にもなりました。



今回は、マップに位置を落とし、落葉樹、常緑樹、針葉樹に分ける作業です。樹林地には、マテバシイの伐採などにより、新しい植物の姿が見えてきました。(K)

## ●調布の自然 ~多摩川の鮎~

私が多摩川のほとりの狛江町に引っ越してきたのは遙かな昔となりました。昭和31年のことです。既に清流を謳われた流れはなく、水量も減っているとのことでした。野鯉、ハヤや小魚が釣れていました。シジミを採った覚えもあります。しかし鮎を釣っている人を見かけた記憶がありません。多分、その頃既に整備されていた堰を越えて、上流にまで遡上する鮎がいなかったからでしょうか。今では市営プールのところの二ヶ領上河原堰まで鮎は上ってきています。将来は、本来の産卵場所まで遡上できるようになるといいですね。多摩川で釣りをするには遊魚料が必要となりますが、多摩川漁協が放流の資金としているとのことです。(小豆畑)



### 今月の活動報告

- ・ 水辺の生き物調査
- ・ 雑木林塾
- ・ 総合学習プロジェクト
- ・ 田んぼの学校

# どうなってるの？野川の水の中の生き物たち

水辺の生き物調査実行委員会

昨年秋に続き、野川で水辺の生き物調査を5月24日(土)に行いました。天候にも恵まれ、参加者24名、スタッフ12名での開催。梅雨入り前の時期は水量が少なめで、採取される水生昆虫も心なしか少ない感じ。秋に多く見られたヒラタドロムシが減り、今までめったに見られなかったハグロトンボが目立ち、魚ではモツゴ、メダカ、ギンブナの他、天然分布の淡水魚のウキゴリを初めて採取しました。



ヒラタドロムシ

ハグロトンボ

ウキゴリ



不思議にも講師の平井さんの投網の実演では、魚を一匹も捕獲することができませんでした。タマちゃんの件や立会川でのボラの大量発生、おまけに浜名湖でホッケが獲れるなど、水の中には何か異変が起きているのではと心配になりました。

当実行委員会では野川の生態系の変化を市民の目をとおして見守る機会として、今秋にも調査を実施する予定です。私たちの心に潤いを与えてくれる野川が自然豊かに生き続けるかぎり。(中原)

最後にこの場を借りて、呼びかけに応じて頂いた自主団体や有志の方々に感謝申し上げます。

## 雑木林塾運営会議

～今年度の雑木林塾活動計画について～

開講時期は9月。フィールドはヘビ山。フィールドの環境整備を行う過程で雑木林塾の講座を進めていくことを念頭に議事は進められました。

前回の話し合いで各自の意見・ビジョンを事前にカードに記入し、これをグループ別にまとめ全員で確認し以下になりました。

1. フィールドのイメージとして立ち木はなるべく残す。
2. 南側の笹竹は暗く、低地の花たちの成長を阻害していることやごみの不法投棄を誘引する恐れがあること、ウグイスを含む野鳥の隠れ家としての利用度合いが少ないことなどから、一部を残して速やかに刈り取ることにしました。

刈り取った笹は環境フェアで配る・市民農園の人に配る・炭にする等の意見が出ました。

3. 南側の低地に湿地帯を設ける意見が出ましたが、当分の間様子を見ることになりました。
4. その他月別の作業日程が決められました。

塾については講師はなるべく一人の方に通して来ていただくことにしました。(里)



## 総合学習支援プロジェクト「野外学習安全講座」

当日の5月19日は雨模様の天候で、多摩川での体験実習ができませんでした。しかし、講師の岡田さんの「私の話を聞きながら、皆さんが実際の現場にいることをイメージしてください」との言葉に全員が真剣に聞き入りました。

海には必ず沖へ流れる場所があること、水難事故の50%が海でおきていること等を話されました。川では、川底の隙間に足をとられて

てしまうことがあること、テトラポット付近は流れが速く危険な場所



あること、万一流された場合は下流に足を向け、頭を上げて前方を確認することを学びました。

一方、岡田さんは水辺の危険性を指摘するだけでなく「人間は自然の中で生きていける」というイメージを伝えていくことが大切と熱い思いを語りました。

とにかく、万一の場合は「落ち着くこと」の一言に尽きるとのことでした。

(by 飯島)

## 2003 ちょうふ DE 田んぼ日記その2 「野ネズミも見にきたよ！」



穏やかに晴れた空に鯉のぼりが泳ぐ4月27日。

「田んぼの学校」の実作業がスタートしました。

まずは苗床作り。今は一面レンゲ畑となっている田んぼの片隅に5m四方の草を刈って耕し、畝を3本作りました。ここで苗を育てます。レンゲの根には作物に必要な窒素をためこむ根瘤菌(こんりゅうきん)があるので、抜かないで根を残すという注意がありました。作業の間も見慣れない野草を見つけてはスタッフの方達に質問が飛び交い、参加者の関心の高さが



うかがえました。かわいい野ネズミが出てきて大騒ぎ、という一幕も。そしていよいよ種もみまき。各自、一週間前から水につけて発芽させた種もみを、丈夫に育てと願いをこめて丁寧にまきました。用水路から苗床に水が引かれると、大人も子どもも大はしゃぎ。恵みの水に対する感謝の気持ちが自然と湧いてきました。

午後は生き物観察を兼ねての用水路の清掃。水草をかき分け泥水をさぐると、空缶やお菓子の空袋がこれでもかとお出てきます。子どもだけでなく、昔子どもだった大人も、もっばらザリガニやヤゴの捕獲に忙しそう。

作業が終わると用水は心なしか少し澄んだようでした。私達に残された里地をみんなで大切にしていきたいと強く思いました。(受講生 長谷川)



## 人間・樹林の会 活動日

内容：埋木調査・管理作業

日時：6月15日(日) 9:30~12時

集合場所：人間町地域福祉センター

持ち物：軍手・飲み物・筆記用具

その他：作業できる服装で

埋木調査と管理作業を行います。保存したい樹木の選定も行います。



キンラン

## 環境フェア

場所 調布駅南口広場

日時 6月7日(土) 10時~15時

ちょうふ環境市民懇談会、調布市環境モニター、雑木林塾、人間・樹林の会、総合学習支援プロジェクトのグループが出展します。皆さん見に来て下さい。

ガイドウォークに参加しませんか

環境フェアの一環事業として、調布ヶ丘地域を中心としたガイドウォークを行います。ご案内は調布市環境モニター(環境調査ボランティア)です。

日時：6月7日(土)

午前：10時~12時

午後：13時30分~15時30分

集合場所：調布駅南口広場

午前・午後とも先着20名

申込・問い合わせ：6月2日(月)17時まで  
環境保全課まで

## ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。

問合せ・申込み：(尾辻)

[kp5y-otj@asahi-net.or.jp](mailto:kp5y-otj@asahi-net.or.jp)

## 環境市民懇談会 連絡会議

### に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみようと思っっている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

## 会議のスケジュール

日時	場所	活動名/内容
6月2日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境モニター 世話人会
6月11日(水) 18:30~20:30	たづくり3階 302会議室	環境市民懇談会 運営委員会
6月12日(木) 18:30~20:30	市役所3階 第1会議室	人間・樹林の会 世話人会
6月20日(金) 18:30~20:30	たづくり6階 602会議室	環境市民懇談会 連絡会議
6月23日(月) 13:30~16:30	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 編集作業
6月30日(月) 13:30~15:30	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 発送作業

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会